

## 松本秀一氏が黄綬褒章を受章

—「令和元年秋の褒章」—

12月17日、令和元年秋の褒章伝達式が厚生労働省で開催され、当工業会会員企業である三菱重工業(株)の松本秀一(まつもと しゅういち)氏に黄綬褒章が加藤勝信 厚生労働大臣より伝達された。その後、皇居にてご夫人同伴で天皇陛下に拝謁した。この素晴らしい栄誉をたたえるとともに、ここにご紹介できることを嬉しく思う。

黄綬褒章は、「農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や事績を有する方」に授与される褒章であり、当工業会からは14人目の受章者である。

松本氏は現在46歳で、平成3年三菱重工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所に入社し、一貫して電装関連の業務に従事している。宇

宙・航空機の電装品からワイヤーハーネスの製造、機体艤装の作業に精通する多能工として活躍し、昨年、「平成30年度卓越した技能者“電子機器部品製造工”部門」で厚生労働大臣表彰が授与された。そして、現在は防衛・宇宙セグメント 航空機・飛昇体事業部 航空機製造部に所属し、電装作業の講師として後進の指導にあたっている。

松本氏の功績等の詳細は、一昨年の「航空と宇宙」(2018年12月号)に掲載しているのでご覧いただきたい。

今後ますますのご活躍、そして卓越した技能と豊富な経験が多くの後進に伝授され、日本の航空宇宙産業の発展に寄与することを期待する。



黄綬褒章と賞状を前にした松本氏ご夫妻



電装品のはんだ付け作業を指導する松本氏

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 広報部長 高木 伸吾〕